

1、消費税の納税

資本金が1,000万未満→設立から2期、税金なし

資本金が1,000万以上→設立1期目から、税金発生

※現在、国会に改正案が提出されています。

情報が入り次第、お伝え致します。

2、地方税

資本金が1,000万以下→7万円(従業員数50人以下)

資本金が1,000万超 →18万円(従業員数50人以下)

※この場合の地方税は、法人である以上、最低限かかってしまう均等割という税金です。

3、交際費

資本金が1億円超→全額経費となりません

資本金が1億円以下 →600万円まで90%分経費となります
(600万円を超えた分は経費となりません)

このように、1,000万円が一つ大きなボーダーとなります。

現在ある会社を節税のために減資するのは、

費用や手間を考えるとあまりおすすめはできません。

そこで少なくとも、これから関連会社や別の会社を設立される際には
ご一考いただければと思います。

ご質問等不明な点がございましたら、
お気軽に弊所までご連絡いただければ幸いです。

メールマガジン編集担当 沼辺 勇樹



■温故知新なく九段的ヒトコト>

終わり良ければすべて良し。

-シェイクスピア(劇作家)

ゴールに向かうまでの過程は、

スムーズに行くこともあれば、

紆余曲折のところもあります。

苦勞したり、思い通りにいったり、

汗かいたり、笑ったりしながら、

ゴールへ到達する。

勝てば官軍、思い通りのゴールにたどり着けば

それまでの過程は成功への大切なプロセスに変わります。

ところでこの言葉、実はシェイクスピアの戯曲の名前。

御存知でしたか？



税務業務としまして、1月は、年末調整、
給与支払報告書の提出、法定調書合計表の提出、
償却資産税申告書の提出と、
この時期のみの業務があり、繁忙期まただ中です。
それもあってか、最近「忙しいですね」と
言われるようになってしまいました。

そこで、「忙しい」とネットで検索してみると、
何番目かに
「忙しいと連呼する男を彼氏候補にしない方がいい7つの理由」
というのが出てきました。

その理由は、

1. 話がつまらない可能性があるから
(忙しい自分に酔っており仕事に対する自慢話に終始する可能性がある)
2. 器の小さい男の可能性があるから
(すぐに余裕をなくし、ジタバタする可能性がある)
3. 相手への配慮が欠けている可能性があるから
(忙しいと伝えることで相手に与える印象を想像できない可能性がある)
4. 付き合った後も「仕事」を言い訳にする可能性があるから
5. 実際は大きな仕事を任せてもらえていない可能性があるから
(些細な仕事の依頼を「忙しい」と断り、仕事の依頼が減っている可能性がある)
6. 断り文句としてわざと「忙しい」と言っている可能性があるから
7. 心を亡くしている可能性があるから

※オトメスゴレンより

http://girl.sugoren.com/report/post_201.php

確かに、周りの方でも、私から見ると有りえない程の忙しさのはずなのに、
忙しいとは言わず、予定があればゴルフや飲み会に積極的に
参加される方がいらっしゃいます。
そのような方は大抵業績もいいですし、
周りの方々も素晴らしい方ばかりです。

まずは「忙しい」と言うことをやめたいと思います。
いつも暇なので誘って下さい(笑)

メールマガジン編集責任者 矢合 真弓
